

弘前大学農学生命科学部地域環境工学科
令和３年度農業土木コース教育評議会 記録

場 所：弘前大学農学生命科学部２０３多目的室

日 時：令和４年３月２６日（土）１５：００～１７：００

出席者：〔学外委員〕 櫻田(隆), 小中, 中村, 小笠原, 井ノ上, 内山

〔プログラム教員〕 遠藤, 加藤, 佐々木, 鄒, 藤崎, 丸居, 森, 森谷, 矢田谷

進行：藤崎 記録：丸居

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

議 事

（１）令和３年，４年度教育評議員について

資料１－１、資料１－２に基づき、令和３年，４年度の教育評議会委員について説明があり、承認された。

（２）２０２２年度継続審査への対応（資料２-1～2-7）

資料２－１に基づき、修了生および修了生就職先へのアンケート調査結果について説明があった。アンケート対象者について質問があり、2015年と2021年の調査対象は全く同じではないと回答があった。資料２－２、資料２－３に基づき、審査スケジュールおよび認定継続審査申請書について説明があった。資料２－４、資料２－５、資料２－６に基づき、自己点検書（概要編、自己点検結果編、添付資料編）について説明があり、農業土木コースの教育システムや最近の活動状況および前回の指摘事項に対する対応等の方針が示された。申請前の６月初旬に自己点検書を各委員へ送付し、最終確認を依頼すると説明があり、了承された。

（３）学生の学習目標達成状況（資料３-1，３-2）

資料３－１に基づき、卒業予定学生の学習・教育到達目標、単位習得状況について説明があり農業土木コースの修了要件を満たしていることを確認した。

資料３－２に基づき、１年生から３年生までの学生の面談結果および就学状況について説明があった。

（４）教育褒賞（資料４）

資料４に基づき、教育褒章選考委員会で2020年度後期分と2021年度前期分を対象に選出した結果および採点方法について説明があり、今年度は遠藤先生の地盤工学・演習が褒章の対象になることが了承された。

（５）就職状況（資料５）

資料５に基づき、卒業予定者の就職状況について説明があった。

（６）その他（資料６）

資料6に基づき、認定プログラムの年次報告書について報告があった。

その他、以下のような自由意見があった。

- ・青森県土地改良人財ネットワークワーキンググループの取り組みについて、県や関係企業の人材を増加させるため、若手職員を使ったPR動画の作成等の紹介があった。
- ・最近の若い人は自分の時間を大事にしたい人が多く、ワークライフバランスをよく考えている。
- ・青森県職の魅力についてインターンシップ等で伝えていき、より多く受験して頂きたい。
- ・青森県職の弘大卒業生に聞いたところ、概ね「県職員になってよかった。」「環境も良い。」という回答であった。一方で「仕事が偏っている。」「CADの講義が充実していると助かる。」という意見があった。
- ・コロナ感染症によりオンライン授業対応となった場合、理解度はどうか？という質問があり、まだ評価することまで行っていない状況と回答があった。
- ・会社における面談では、海外志望者が多い印象で、国際性が重要視されていない点にはギャップを感じた。